

平成31年度 前期学校評価

評価対象	評価項目	具体的数値項目【A評価の基準】	方策	肯定的意見の割合【%】		
				保護者	生徒	職員
I 重点教育目標・キャリア教育	○生徒が、自ら考え正しく判断・行動し、仲間と協力しながら、失敗しても立ち上がり、最後まで目標に向かう姿勢を身に付けているか。	(1)生徒は、学習や行事、部活動などに主体的に取り組んでいる。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》学習や行事、部活動などに、生徒が主体的に取り組めるよう工夫している。	・めあてや目標の明確化 ・取り組みの様子の称賛・助言 ・生徒に任せるべき事柄を明確にし、生徒に提示するとともに取り組みを考えさせる	94.1	88.0	100.0
		(2)生徒は人を大切にし、優しく接している。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒が人とつながり、認め合い、支えあえる関係をもてるように活動や指導を工夫している。	・生徒の様子を観察し、よいところは褒め、改善すべきところは指導する ・学級活動や学校行事などの集団活動を通して、お互いを認め合い、支え合うことの大切さを感じることができる指導を行う	92.9	93.1	100.0
		(3)生徒は、失敗したりうまくいかなかったりしても、あきらめずに取り組んでいる。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒が失敗してもあきらめずに取り組めるよう指導・支援に当たっている。	・最後までやり通すことの大切さを学習や部活動を通して指導する ・生徒が成功体験を積み重ね自信をつけられるよう指導を工夫する ・認め合い、励まし合える集団を育成する	71.0	85.5	93.8
		(4)生徒は、授業や家庭学習に意欲的に取り組んでいる。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒が意欲的に取り組めるような授業や家庭学習を工夫している。	・興味・関心を高める学習課題の設定 ・教材・教具、学ばせ方の工夫 ・家庭学習課題を継続的に与える	74.2	75.0	78.6
II 確かな学力	○生徒の実態を踏まえながら、確かな学力の定着を目指した学習指導を行っているか。	(5)「めあて」の提示により学習課題を意識して取り組むことができ、「振り返り」で学習内容を確認することができている。 【生徒:90%】 《職員》めあての提示とふりかえりを確実にし、目的意識の向上や学習内容の確実な定着を図っている。	・本時のねらいの明確化 ・「めあて」と「ふりかえり」の結びつきを意識した授業展開 ・職員同士で授業参観を行い、指導法の工夫・改善を図る	75.3	75.3	100.0
		(6)話し合う活動を通して、自分の考えに自信をもったり、友達の意見に「なるほど」と思ったりできる 【生徒:80%】 《職員》互いに関わり合い、認め合い、学びあう授業作りを行っている。	・話し合いの意図を明確にした課題の設定 ・職員同士で授業参観を行い、指導法の工夫・改善を図る			
	○「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善を行っているか。	(7)生徒は気持ちのよいあいさつや場に応じた言葉遣い、身だしなみに気をつけている。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》挨拶や言葉遣い、身だしなみ等について家庭と連携して指導に当たり、基本的な生活習慣の定着を図っている。	・職員から手本となる「あいさつ」「言葉遣い」を行う ・日常的にあいさつや言葉遣い、身だしなみの意義について反復指導を行う ・好ましくない言動には、全職員同一歩調で声掛け・指導	86.6	90.6	70.6
III 豊かな人間関係づくり	○生徒の基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上をめざした指導を行っているか。	(8)生徒は、時間やきまりを守ったり、責任をもった行動をとったりできる。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒に、時間やきまりを守る姿勢、責任を持つ姿勢が身につくような指導をしている。	・日ごろから規則遵守、責任の大切さを生徒に話す ・一人一人に責任を持たせる活動を設定	78.7	90.6	100.0
		(9)学校はいじめや不登校、問題行動の予防・早期発見・対応に努めている。 【生徒:100% 保護者:100%】	・生活アンケートの実施と日常の観察 ・生徒会を中心としたいじめ防止活動 ・不登校生徒の家庭へ定期的な連絡・家庭訪問 ・情報モラル講習会の実施 ・すべての生徒を等しく守り、育てるとする職員の意識の徹底	81.4	84.4	100.0
	○いじめの早期発見・解消や、不登校の減少に向け、組織的に取り組んでいるか。	(10)SC、適応指導教室、指導員、相談員等と連携し、いじめや不登校対策に組織で取り組んでいる。	・教育相談部会の定期的な開催 ・適応指導教室指導員との連携 ・教育相談部会を中心として情報共有及び対策の検討を行うとともに、決定したことを確実に履行する			100.0
		(11)先生方は、生徒一人一人を大切にし、温かく接している。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒一人一人のよさを認め、自尊感情・自己肯定感を高めるようにしている。	・一人一人のよさを認める日常の学習・活動・生徒指導 ・職員の適切な言葉遣いによる生徒への対応 ・職員の人権意識を高める ・生徒1人1人の声に耳を傾け、ともに悩み、考え、成長しようとする意識を持って職務にあたる	88.1	88.0	93.8
	○生徒・保護者の気持ちに寄り添った指導を行っているか。	(12)学校は、生徒・保護者に対して、誠意をもって対応したり、相談に応じたりしている。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒や保護者に寄り添った生徒支援を行っている。	・生徒・保護者の置かれている立場・状況をくみ取った対応 ・決めたことや約束したことを確実に履行する	90.1	87.3	100.0
		(13)生徒は、事故にあつたり病気やけがをしないように気をつけている。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒に健康で安全な生活習慣を確立することに努めている。	・近隣で起こった事件・事故の情報を生徒に提供 ・保健だよりによる啓発 ・栄養士による給食時訪問 ・学校行事や部活動などで、事故を起こさないために必要なことを考えさせる指導を行う	89.4	93.5	88.2
IV 健康・安全管理	○危機管理を徹底するとともに、災害発生時に生徒自身が身を守るために考えて行動しようとする意識を高めているか。	(14)学校は、安全の視点からの環境整備や生徒の安全意識を高める指導に取り組んでいる。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》危機の予測・未然防止を意識して安全点検を行ったり、生徒自身の安全に対する意識を高める指導を行ったりしている。	・安全点検での危険個所の発見・改善 ・校外委員会を活用した登下校(通学路)の安全指導及び情報共有 ・緊急時の適切な行動を考え、実践する防災訓練の実施	93.3	90.9	70.6
		(15)学校は、さまざまな機会を通じ、生徒や学校の様子をよく知らせている。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》各種通信、HPなどを活用し、教育活動(生徒・学級・学校の様子、進路情報等)について積極的に発信している。	・定期的な学年学級通信の発行 ・行事の際にはブログを随時更新	92.5	84.8	92.3
V 保護者・地域との連携	○保護者の学校理解を深めるため、情報発信を積極的に行っているか。	(16)生徒は、地域の行事・ボランティアなどに積極的に参加している。 【生徒:80% 保護者:80%】 《職員》生徒に地域の行事・ボランティア等の意義を含めて参加を促している。	・町の行事やボランティア活動への積極的な参加を促す ・授業や行事を通して、自分が生まれ育った地域に対する思いを育て、地域に対して何ができるかを考えさせる指導を行う	37.8	50.4	64.3